

報道関係者各位

株式会社スクウェア・エニックス・ホールディングス

株式会社スクウェア・エニックス・ホールディングス
2016年3月期 第3四半期連結決算のお知らせ

株式会社スクウェア・エニックス・ホールディングス(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:松田 洋祐、以下当社)は、本日、2016年3月期 第3四半期の決算発表を行いましたのでお知らせいたします。

財務ハイライト

■ 第3四半期連結累計期間(4月1日~12月31日)

	2016年3月期 第3四半期	百万円 2015年3月期 第3四半期	前年比
売上高	152,760	118,874	28.5%
営業利益	23,778	14,814	60.5%
経常利益	24,198	16,543	46.3%
親株主に帰属する四半期純利益	13,538	10,916	24.0%
1株当たり四半期純利益	111.01円	94.70円	-

■ ご参考:通期(4月1日~3月31日)

	2016年3月期計画	百万円 2015年3月期	前年比
売上高	200,000~220,000	167,891	19.1~31.0%
営業利益	17,000~25,000	16,426	3.5~52.2%
経常利益	17,000~25,000	16,984	0.1~47.2%
親株主に帰属する四半期純利益	11,000~18,000	9,831	11.9~83.1%
1株当たり四半期純利益	90.21~147.62円	84.34円	-

詳細な情報は、本日開示の四半期決算短信 (<http://www.hd.square-enix.com/jpn/16q3tanshin.pdf>) をご参照下さい。

ご参考:スクウェア・エニックス IRページ: <http://www.hd.square-enix.com/jpn/ir/>

2016年3月期 第3四半期は、スマートデバイス・PCブラウザ等をプラットフォームとしたコンテンツにおいて、従来のタイトル群が好調に推移したことに加えて、「メビウス ファイナルファンタジー」、「星のドラゴンクエスト」、「ファイナルファンタジー ブレイブエクスヴィアス」などのスマートフォン向け新規ゲームが好調なスタートを切りました。また、家庭用ゲーム機向けタイトルにおいて、「JUST CAUSE 3」、「RISE OF THE TOMB RAIDER」の発売が堅調であったほか、多人数参加型オンラインロールプレイングゲーム「ファイナルファンタジーXIV」および「ドラゴンクエストX」の追加ディスクの販売、運営が好調に推移しました。

アミューズメント事業においては、「ディシディア ファイナルファンタジー」などのアミューズメント機器の販売が好調であったほか、効率的な店舗運営に努め、業績は順調に推移しております。

<ご参考>

株式会社スクウェア・エニックス・ホールディングスについて

株式会社スクウェア・エニックス・ホールディングスは、多彩なコンテンツ／サービス事業を展開しているスクウェア・エニックス・グループを統括する純粋持株会社です。当社グループは、スクウェア・エニックス、タイトー、アイドスなどの国際的ブランドのもと上質なエンターテインメント・コンテンツ／サービスを提供しています。また、先進的な開発拠点を日本、北米および欧州に配置し、国際的な事業推進体制を構築しています。当社グループの自社IPの代表作には「ドラゴンクエスト」シリーズ(パッケージゲーム累計出荷本数6,400万本以上)、「ファイナルファンタジー」シリーズ(1億1,000万本以上)、「トゥームレイダー」シリーズ(4,500万本以上)、「スペースインベーダー」シリーズなどがあります。[\(http://www.hd.square-enix.com/jpn/\)](http://www.hd.square-enix.com/jpn/)

※SQUARE ENIX および SQUARE ENIX ロゴ、ドラゴンクエスト／DRAGON QUEST、ファイナルファンタジー／FINAL FANTASY、トゥームレイダー／TOMB RAIDER、スペースインベーダー／SPACE INVADERS、その他の社名、商品名は、日本およびその他の国におけるスクウェア・エニックス・グループの商標または登録商標です。

※その他、記載されている会社名・商品名は、各社の商標または登録商標です。